《 川崎港コンテナターミナル施設保守管理業務委託仕様書 》

- 1 委託件名 川崎港コンテナターミナル施設保守管理業務委託
- 2 委託場所 川崎市川崎区東扇島92・93番地（川崎港コンテナターミナル内）
- 3 委託期間 令和8年4月1日から令和13年3月31日

4 目的

川崎港コンテナターミナルの施設を、正常かつ良好に保つための維持管理を行う。

5 委託業務

- (1) 設備運転保守管理業務
- (2) 消防用設備定期点検保守業務
- (3) 空気調和機定期点検保守業務
- (4) 建築物定期点検保守業務
- (5) 建築物付帯設備定期点検保守業務
- (6) ユーティリティ設備定期点検保守業務
- (7) ボイラー設備定期点検保守業務
- (8) 放送設備定期点検保守業務
- (9) 電話交換設備定期点検保守業務
- (10) 建築物環境衛生管理業務
- (11) 昇降機定期点検保守業務
- (12) 浄化槽定期点検保守業務
- (13) 地下貯蔵タンク定期検査業務
- (14) 給油施設定期点検保守業務
- (15) 業務の引継ぎ

6 委託基準

業務の実施にあたっては、本仕様書によるほか、関係諸法令に基づき業務を行うものとする。また、各設備の業務内容は別に定める。

7 委託準備

契約締結後速やかに、委託業務着手届、現場作業責任者届及び業務従事者名簿並びに請負人選定通知書を作成し、提出する。

作業内容、作業日、安全対策等の必要事項を考慮し、年間施設管理計画表を作成して発注者と協議を行った上で、委託業務計画書を作成し、その内容の承諾を得て提出する。

8 負担区分

業務で使用する車両・工具・機器類等は、受託者の負担とする。

業務に必要な電気・水道水は無償とする。

消耗品については、発注者と協議する。

※ なお、車両は日々の巡回等に使用するものとする。

9 貸与施設等

業務に使用する貸与施設等については、次のとおりとする。

(1) メンテナンスショップ	3階（会議室・休憩室・給湯室・便所）
(2) 駐車場	コンテナターミナル駐車場（巡回用車両1区画）
(3) その他	委託作業に必要と認めた指定する場所

10 業務体制

- (1) 設備保守管理要員数 1名以上

要員は豊富な経験を持ち、誠実に業務を行う者でなければならない。また、関係法令に基づく資格免許を有する者を選任する。

※ 業務内容により、必要に応じて2名以上で対応するものとする。（安定器交換については交換申請書を作成し、2名で工事を行うこと。）

- (2) 保守管理要員の資格

1. ボイラー取扱者以上
2. 第1種又は2種電気工事士
3. 危険物取扱者（乙4）以上
4. 建築物環境衛生管理技術者
5. 電気取扱業務（低圧）
6. 第1種・2種消防点検資格者以上

- (3) 勤務時間

原則として7：00～16：00（土、日、祝祭日は除く）

ただし、上記勤務時間外に点検等必要がある場合は、要員を確保し対応することとする。

11 報 告

次月業務実施予定：前月の中旬までに発注者へ提出する。

日常点検：勤務日の都度、提出する。

その他の報告書等：

- (1) 保守点検作業表や報告書の内容については事前に発注者の承認を受ける。
- (2) 月初めに前月分の報告書等を発注者に提出し、検査を受ける。
- (3) 各月の施設管理業務実施表とその月の問題箇所をまとめたものを、報告書の最初に綴じる。
- (4) 報告事項ごとに見出しをつける。

12 写 真

業務の写真撮影は、次のとおりとする。

- (1) カラー写真で、作業名・作業場所・作業内容を記した工事黒板を入れて撮影する。
- (2) 各委託の業務毎に撮影し、整理して1部提出する。

13 考 察

業務により設備の老朽化、不具合及び補修を必要とする事項を発見したときは、直ちに発注者に連絡するとともに、報告書に略図・写真、参考資料を添付し提出する。

14 工事等の立会い

川崎市又は指定管理者の発注する施設保守管理に関する工事等について、発注者の求めに応じて立会い、その他関連する業務（工事の事前打ち合せ等を含む）を行う。

15 災害予防

業務の履行により発生した事故や災害により、指定管理者、川崎市又は第三者に損害を与えた場合は、受託者の責任において処理する。

なお、労務災害も同様とする。特に火気取扱には十分注意する。

16 留意事項

業務の実施にあたっては、各設備の技術的理論を把握し実務に熟練した技術員を派遣する。また、作業責任者は発注者の指示に従いながら作業を行う。

なお、業務委託期間中に故障・不具合等について発注者より指示があった場合には、速やかに技術員を派遣して対応する。

17 疑 義

本仕様書に明記されていない事項について疑義が生じた場合には、発注者と協議し、その指示に従うこと。

18 秘密保持

川崎港東扇島コンテナターミナルの維持管理業務内容に関する情報及び資料等の取扱について、別紙「誓約書」を締結し、秘密保持に努めること。

19 その他

業務に使用する機器類及び作業従事者の服装用具は、作業に適したものをを用いる。

各回業務実施前に発注者と打合せを行い、指示に従い着手すること。

施設を常に利用可能な状態に維持するため、発注者と協議のうえ、必要な簡易補修及び消耗品等を交換すること。

本委託において発生した廃材（汚泥以外）は、別の産業廃棄物処理業務委託により処分を行うため、発注者の指定した場所に整理整頓し、仮置きすること。

業務内容

1 設備運転保守管理業務

ターミナル諸設備の安定操業と効率的運転を図るため、各施設や設備の外観・動作確認・測定記録等の日常巡視点検業務を行う。

予備品・消耗品納品検査、在庫管理や点検、補修工事等の立会いとその報告を行う。

異常発生時は、状況を判断して応急措置をとるとともに、発注者に連絡する。特に電気設備で低圧2次側遮断器（開閉器）が開放したときは、必ず原因を調査した上で復旧すること。

軽易なものについては補修を行う。

(1) 業務対象

- ① 電気設備（受変電所、メンテナンスショップ、管理棟、入口ゲートブース、出口ゲートブース、ゲートハウス事務所、マリンハウス、雨天検疫場、ポンプ室、給油施設、修理場及び洗浄場、作業員詰所、ガードマンボックス）
- ② 消防設備（ヤード内、防災備品庫（コンテナ）、受変電所、メンテナンスショップ、管理棟、入口ゲートブース、出口ゲートブース、ゲートハウス事務所、マリンハウス、雨天検疫場、ポンプ室、給油施設、作業員詰所）
- ③ 空気調和設備（受変電所、メンテナンスショップ、管理棟、入口ゲートブース、出口ゲートブース、マリンハウス、ゲートハウス事務所、作業員詰所、ガードマンボックス）
- ④ 建築物付帯設備（管理棟）
- ⑤ ユーティリティ設備（ポンプ室）
- ⑥ ボイラー設備（受変電所、メンテナンスショップ、管理棟）
- ⑦ 昇降機設備（管理棟）
- ⑧ 地下貯蔵タンク設備（灯油、特A重油、軽油）
- ⑨ 給油施設（軽油）
- ⑩ 修理場及び洗浄場

(2) 業務内容

点検等項目・回数

① 電気設備	
各計器・分(配)電盤・表示・異音・異臭等の巡回・目視点検	日1回
予備品・消耗品納品検査、在庫管理	随時
低圧2次側遮断器（開閉器）開放時の調査	随時
② 消防設備	
消防設備の設置状況等の巡回・目視点検	日1回
③ 空気調和設備	
パッケージエアコン等の動作確認	随時
清掃点検	随時
④ 建築物付帯設備	
管理棟自動ドアの開閉状況目視点検	日1回
害虫等被害状況点検	月1回

⑤ ユーティリティ設備		
外観点検		月 1 回
市水メーター検針（2箇所）		日 1 回
⑥ ボイラー設備		
機能点検		月 1 回
異音や温度等の巡回・目視点検（朝・夕）		日 2 回
⑦ 昇降機設備		
稼動状況の目視点検		日 1 回
⑧ 地下貯蔵タンク設備（灯油）		
外観目視点検		日 1 回
灯油メーター検針		日 1 回
⑨ 給油施設		
外観目視点検・動作確認		日 1 回
油水分離槽目視点検（必要に応じ清掃）		週 1 回
⑩ 修理場及び洗浄場		
油水分離槽目視点検（必要に応じ清掃）		週 1 回

2 消防用設備定期点検保守業務

消防用設備を良好な状態に維持するため、定期的な点検保守を実施する。なお、保守点検等業務については、関係法令及び保守点検作業表等によるものとする。

（1）業務対象

諸施設に付帯する消防用設備

（2）業務内容

① 外観点検、機能点検（年 1 回）

② 総合点検（年 1 回）

非常用発電機 負荷試験については除く

（3）報告義務

点検保守業務終了後、速やかに点検記録表を作成し、発注者へ提出するものとする。

なお、防災備品庫（コンテナ）消防用設備の点検記録表は分けて作成すること。

（4）消防用設備及び点検保守細目（別表）

3 空気調和機定期点検保守業務

施設の良い環境を保つ機器の円滑な運転を図るため、定期的な点検保守を実施する。

なお、保守点検等業務については、関係法令及び保守点検作業表等によるものとする。

（1）業務対象

建築物に付帯する空気調和機器

（2）業務内容

① 点検・清掃

② 運転状況確認

(3) 報告義務

点検保守業務終了後、速やかに点検記録表を作成し、発注者へ提出するものとする。

(4) 空気調和機点検保守清掃業務細目

(管理棟5階オペレーター室に関しては日曜日に実施すること)

① 定期点検：パッケージエアコン

室内機 (フィルター清掃含む)	年2回	169台
室内機 (フロン簡易点検)	年4回	169台
室外機 (フロン簡易点検)	年4回	85台

② 精密点検：パッケージエアコン

室外機	3年に1回	25台
-----	-------	-----

③ 全熱交換器 (点検・清掃) 年2回 54台

④ 室内機分解薬品洗浄 年1回 54台

*空調機に関しては令和7年度から市にて順次更新工事を実施するため、対象機器や期間については別途協議する。

4 建築物定期点検保守業務

建築物を良好な状態に保つため、定期的な点検保守を実施する。

なお、保守点検等業務については、関係法令及び保守点検作業表等によるものとする。

(1) 業務対象

川崎コンテナ管理棟事務所

(2) 業務内容

① 特定建築物定期調査 (3年に1回。次回実施は令和8年度。)

② 建築設備定期点検

(3) 建築物定期点検保守細目

建築設備定期点検

① 機械換気設備	年1回	一式
② 排煙設備	年1回	一式
③ 非常用照明装置	年1回	一式

(4) 報告義務

点検保守業務終了後、速やかに点検記録表を作成し、発注者へ提出するものとする。

5 建築物付帯設備定期点検保守業務

建築物に付帯する設備を良好な状態に維持するため、定期的な点検保守を実施する

なお、保守点検等業務については、関係法令及び保守点検作業表等によるものとする。

絶縁測定は、コンテナターミナルの運営に支障のないよう、受変電所の定期点検日 (停電日) に合わせる。

(1) 業務対象

建築物に付帯する諸設備

(2) 業務内容

- ① 各設備の絶縁測定（管理棟に関しては川崎市の定めた法定点検日に実施することとする。）、外観点検、定期点検、清掃、検査（年1回）
- ② 管理棟自動ドア（定期点検 年4回）

(3) 報告義務

点検保守業務終了後、速やかに点検記録表を作成し、発注者へ提出するものとする。絶縁測定は分電盤ごとに回路名、測定値を記録して報告する。

(4) 建物付帯設備点検保守細目

① 管理棟	: 電灯盤動力盤絶縁測定	年1回	41面
	室内照明設備清掃	年1回	1,051箇所
② マリンハウス	: 電灯盤動力盤絶縁測定	年1回	2面
	室内照明設備清掃	年1回	17箇所
③ ゲートハウス事務所	: 電灯盤動力盤絶縁測定	年1回	2面
	室内照明設備清掃	年1回	43箇所
④ 入・出口ゲートブース	: 電灯盤動力盤絶縁測定	年1回	10面
	室内照明設備清掃	年1回	91箇所
⑤ 雨天検疫場	: 電灯盤動力盤絶縁測定	年1回	2面
	照明設備清掃	年1回	36箇所
⑥ ポンプ室	: 電灯盤動力盤絶縁測定	年1回	3面
	室内照明設備清掃	年1回	5箇所
⑦ メンテナンスショップ	: 電灯盤動力盤絶縁測定	年1回	10面
	室内照明設備清掃	年1回	164箇所
⑧ 受変電所	: 室内照明設備清掃	年1回	107箇所
⑨ 外構照明	: 電灯盤動力盤絶縁測定	年1回	2面
⑩ 給油施設	: 電灯盤動力盤絶縁測定	年1回	1面
⑪ 洗浄場	: 電灯盤動力盤絶縁測定	年1回	1面
⑫ 修理場	: 電灯盤動力盤絶縁測定	年1回	1面
⑬ 作業員詰所	: 電灯分電盤絶縁測定	年1回	1面
	室内照明設備清掃	年1回	32箇所
⑭ ガードマンボックス	: 電灯分電盤絶縁測定	年1回	1面
	室内照明設備清掃	年1回	1箇所

6 ユーティリティ設備定期点検保守業務

上水受入送水設備を良好な状態に維持するため、定期的な点検保守を実施する。

なお、保守点検等業務については、関係法令及び保守点検作業表等によるものとする。

(1) 業務対象

上水受入送水設備（給水ポンプ室）

(2) 業務内容

- ① 外観点検、機能点検（月 1 回）
- ② 定期点検（年 1 回）
- ③ 応急対応（24 時間、365 日）

※ 定期点検及び応急対応は株式会社荏原製作所に依頼するものとする。

(3) 報告義務

点検保守業務終了後、速やかに点検記録表を作成し、発注者へ提出する。

7 ボイラー設備定期点検保守業務

ボイラー設備の安全な運転状況を維持するため、定期的な点検保守を実施する。

なお、保守点検等業務については、関係法令及び保守点検作業表等によるものとする。

(1) 業務対象

ボイラー設備（管理棟、メンテナンスショップ、受変電所）

(2) 業務内容

定期点検（月 1 回）、精密点検（性能検査に準じる整備 年 1 回）

(3) 報告義務

点検保守業務終了後、速やかに点検記録表を作成し、発注者へ提出する。

(4) ボイラー設備点検保守業務細目

管理棟（給湯用ボイラー）	1 基
メンテナンスショップ（電気温水器）	2 基
受変電所（電気温水器）	1 基

8 放送設備定期点検保守業務

通信設備を良好な状態に維持するため、定期的な点検保守を実施する。

なお、保守点検等業務については、関係法令及び保守点検作業表等によるものとする。

(1) 業務対象

構内放送設備

(2) 業務内容

定期点検（年 1 回）

(3) 報告義務

点検保守業務終了後、速やかに点検記録表を作成し、発注者へ提出する。

(4) 通信設備点検保守業務細目

構内放送設備定期点検

① 主装置清掃点検	年 1 回	1 台
② スピーカー点検	年 1 回	102 台
③ 継端子盤清掃点検	年 1 回	11 面

9 電話交換設備定期点検保守業務

電話交換設備を良好な状態に維持するため、定期的な点検保守を実施する。

なお、保守点検等業務については、関係法令及び保守点検作業表等によるものとする。

(1) 業務対象

電話交換設備

(2) 業務内容

- ① 定期点検（年1回）
- ② 応急対応（24時間、365日）

(3) 報告義務

点検保守業務終了後、速やかに点検記録表を作成し、発注者へ提出する。

※ 定期点検及び応急対応は NEC ネットエスアイ株式会社に依頼するものとする。

10 建築物環境衛生管理業務

施設の良い環境を保持するため、建物に付帯する衛生設備の定期的な点検保守を実施する。

なお、保守点検等業務については、「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」等関係法令及び保守点検作業表等によるものとする。

(1) 業務対象

環境衛生設備の点検清掃、環境測定、水質検査

(2) 業務内容

- ① 空気環境の測定
- ② 照度の測定（労働安全衛生法）
- ③ 各種水槽の清掃
- ④ 飲料水水質検査
- ⑤ 残留塩素測定（水の色・濁り・臭気・味も併せて実施）
- ⑥ 害虫等防除（ネズミ・衛生害虫等の防除）
- ⑦ 排水管清掃
- ⑧ 簡易専用水道検査（水道法第34の2）
- ⑨ 建築物環境衛生管理技術者の選任業務（通年）
 - ア 維持管理業務計画の立案
 - イ 維持管理業務の全般的な監督
 - ウ 環境衛生上の維持管理に関する測定または検査の実施とその結果の評価
 - エ 環境衛生上の維持管理に必要な各種調査の実施とその結果の評価

(3) 報告義務

点検保守、各種の測定及び検査業務終了後、速やかに当該記録表を作成し、発注者へ提出する。

(4) 建築物環境衛生管理業務細目

- ① 空気環境測定
 - ・測定回数：年6回
 - ・測定箇所：各階ごとに1箇所以上及び外気（床75cm以上150cm以下の位置にて実施）15カ所
- ② 照度測定
 - ・測定回数：年2回
 - ・測定箇所：198カ所

- ③ 受水槽清掃 (27 t) 年 1 回
- ④ 汚水槽清掃 (1 t、1.5 t、65 t) 年 2 回 3 槽 (ゲートハウス、ゲートブース、メンテナンスショップ)
- ⑤ 消火水槽清掃
 - ・ 500ℓ 年 1 回 2 槽 (ポンプ室、屋外消火栓補助水槽)
 - ・ 22 m² 年 1 回 1 槽 (管理棟)
- ⑥ 油分離槽清掃 (2948ℓ・4244ℓ) 年 1 回 2 基 (全 8 槽) (給油施設、修理場及び洗浄場)
- ⑦ 側溝清掃 年 1 回 (給油施設、修理場及び洗浄場)
 - グレーチング 284m (幅 300mm×深さ 300mm)
- ⑧ 水榭水質分析 (水素イオン濃度 (pH)、生物化学的酸素要求量 (BOD)、浮遊物質量 (SS) 化学的酸素要求量 (COD) 分析) 年 1 回 1 カ所
- ⑨ 飲料水水質検査 (16 項目・28 項目 年 1 回 詳細項目は下記のとおり)
 - ・ 省略不可項目 (11 項目) 年 2 回
 - ・ 重金属 (4 項目) 年 2 回 (水質検査結果が基準に適合していた場合は次回に限り省略可)
 - ・ 蒸発残留物 (1 項目) 年 2 回 (水質検査結果が基準に適合していた場合は次回に限り省略可)
 - ・ 消毒副生成物 (12 項目) 年 1 回 (6 月 1 日から 9 月 30 日までの間に実施)
- ⑩ 残留塩素測定 週 1 回 一式 (受水槽清掃後の水張り終了後の受水槽も含む。)
- ⑪ 害虫等防除 年 2 回 4,500 m²
- ⑫ 排水管清掃
 - ・ トイレ 年 2 回 38 カ所
 - ・ 湯沸室 (洗濯室含む) 年 2 回 13 カ所
 - ・ シャワー室 年 2 回 18 カ所
 - ・ 管理棟屋外階段 年 2 回 4 カ所
- ⑬ 簡易専用水道検査 年 1 回 一式

11 昇降機定期点検保守業務

昇降機が常に完全かつ良好な運転状態を保つように、定期的な点検保守を製造・設置メーカーにより実施する。

なお、保守点検等業務については、関係法令及び保守点検作業表等によるものとする。

(1) 業務対象

乗用エレベーター 2 基 (管理棟)

(2) 業務内容

ア 保守点検 (月 1 回)、定期点検 (年 1 回)

イ 定期及び保守点検の結果により、機器の性能維持に必要と判断される場合は、機器及び付属部品に対し、修理又は取り替えを行うこと。

※ 保守点検及び定期点検は横浜エレベーター株式会社に依頼するものとする。

(3) 報告義務

保守点検業務終了後、速やかに都度点検記録表を作成し、発注者へ提出すること。

12 浄化槽定期点検保守業務

浄化槽を良好な状態に保つため、定期的な保守点検を実施する。

なお、保守点検等業務については、関係法令及び保守点検作業表等によるものとする。

(1) 業務対象

管理棟及びマリンハウス、作業員詰所、入口ゲート横屋外トイレの浄化槽

	管 理 棟	マリンハウス棟	作業員詰所	入口ゲート横 屋外トイレ
方 式	接触ばっき式		接触ろ床方式	
機 種	CBC-48HD	AAC-10N	CENeco-7型 (フジクリン)	CEN1-30型(フ ジクリン)
対象人員	262人	10人	7人	30人
処理能力	48m ³	2m ³	1.4m ³	6m ³
放流水質	BOD20mg/L		BOD10mg/L	

(2) 業務内容

- ① 定期点検：管理棟 月2回
マリンハウス、作業員詰所 年3回
入口ゲート横屋外トイレ 年4回
- ② 浄化槽の修理、補修、部品交換及び汚泥の引き抜き、その他清掃に関する業務 年1回
- ③ 法定検査：浄化槽法第11条関係の検査、水質分析 年1回

(3) 報告義務

保守点検業務終了後、速やかに点検記録表を作成し、発注者へ提出すること。

13 地下貯蔵タンクの定期検査業務

貯油槽を良好な状態に保つため、定期検査を実施する。

なお、定期検査業務については、消防法ほか関係法令及び保守点検作業表等によるものとする。

(1) 業務対象

地下タンク 3基 3、6、40 kℓ

(2) 業務内容

目視点検、漏洩点検等定期点検（「製造所等の定期点検に関する指導指針の整備について（平成3年5月29日消防危第48号）」の点検表による）：地下タンク 3基（3、6、40 kℓ）年1回

(3) 危険物定期点検（消防法14条3の2）

地下タンク（3、6 kℓ）一般取扱所（変電室サービスタンク）及び配管 年1回

(4) 報告義務 定期検査業務終了後、速やかに点検記録表を作成し、発注者へ提出すること。

14 給油施設定期点検保守業務

給油施設を良好な状態に保つため、定期点検保守を実施する。

なお、点検保守点検業務については、関係法令及び保守点検作業表等によるものとする。

(1) 業務対象

計量器 2台、POSハードウェア（スタンド式） 1台、油面計 1台、警報機 1台、漏洩検知装置 1台

(2) 業務内容

①計量器点検 月1回

②地下タンク検水点検 月1回

③漏洩検知装置点検 月1回

④定期点検（「製造所等の定期点検に関する指導指針の整備について（平成3年5月29日消防危第48号）」の点検表による（地下タンクの漏洩点検は除く）） 年1回

※ 点検は株式会社タツノに依頼するものとする。

(3) 報告義務

保守点検業務終了後、速やかに点検記録表を作成し、発注者へ提出すること。

15 業務の引継ぎ

契約期間満了後、次年度の川崎港コンテナターミナルの施設を正常かつ良好に保つため必要な事項について、次年度の請負業者に引継ぎを行うこと。

消防用設備及び点検保守細目

	粉末蓄積 消火器 (ABC)	強化 液消 火器	第三種 移動式 粉末消 火設備	屋内消火栓		屋外消火栓		非常 電源	誘導灯(階 段非常灯)	二酸化 炭素消 火設備	感知器	発信機	音響装置	防火 シャッ ター	避難 はし ご	動力 ポン プ	自火報 主受信 機	自火報 副受信 機	スピーカ-	備考
				台	ホース	台	ホース													
管理棟	37			6	12	2	4		50		142	10	10				1		73	
メンテナンスショップ・雨天検査所	25			1	2	3	6		24		53	4	11	1	2				19	
受変電棟・ポンプ室ほか	25							1	11	42	29	3	3					1	7	
ヤードDG・軽油スタンド	12		1																	
マリン・ゲートハウス・出口ブース	12					2	4				21	7	7						3	
危険物置場・レーン	17																			
防 災 倉 庫	31	2															1			
ガントリ・トランスファークレーン	24																			
入口ブース	2										2	2	2				1			
作業員詰所	3								2		4	1	1							
ガードマンボックス	1																			
計	189	2	1	7	14	7	14	1	87	42	251	27	34	1	2	1	2	1	102	

バンプール地区 給排水設備等及び点検保守細目

	男子トイレ				女子トイレ			汚水口	浄化槽 30人槽	浄化槽 7人槽	通気管 及びブ ロア-	屋内外水栓	水道 メータ -	備考
	小便器	大便器	手洗器	SK	大便器	手洗器	SK							
作業員詰所	2	1	2	1	1	2		7		1	2	2	1	
屋外トイレ	2	2	2		2	2	1	8	1		2	2		
中央通路入口													1	市水道局メータ
計	4	3	4	1	3	4	1	15	1	1	4	4	2	

バンブール地区 電気（LED）設備等及び点検保守細目

	マルチハロゲン灯1300形	40型Dスタイル	20型Dスタイル	150型ダウンライト	軒下用100形ダウンライト	100形ダウンライト	非常灯自己点検機能（建築設備）	換気扇	計	分電盤（絶縁測定）	空気調和設備	照度測定	MDF電話	マルチハロゲン灯1000形	ハロゲン2灯	ハロゲン1灯	備考
バンチックゲート	16	6					2	2	22	2	2	2	2				
作業員詰所		15	1	3	2	11	5	6	32	1	2	6	1				
ガードマンボックス		1					1	1	2	1	1	1	1				
屋外トイレ						12			12	1		2					
シャープール灯（2個×4か所）															8		
照明塔（4個×5か所）														20			
中央通路塔（1個×4か所）																4	
計	16	22	1	3	2	23	8	9	68	5	5	11	4				

年 月 日

様

(受託者)
所在地

商号又は名称

代表者氏名

⑩

取扱責任者

⑩

誓 約 書

川崎港コンテナターミナルの施設保守管理業務内容に関する情報及び資料等の取扱について、次の事項に基づいて遵守することを誓約します。

1. 業務の履行のため「国際船舶・港湾保安法」に基づく埠頭保安規程に定められた制限区域（以下「制限区域」）に立ち入り、知り得た情報及び当社から提供される制限区域に関する図書（以下「書類等」という。）により知り得た情報は全て秘密保持対象とし、第三者への提供など一切の漏洩を行わないこと。
2. 業務遂行上保存が必要と考えられる資料等があった場合は、厳重に保管すること。
3. 当件に関する秘密保持義務は、業務完了以降も継続することを認識し、情報管理を徹底すること。
4. 委託業務の一部を他の機関・事業者等に委託するときも同様に、前3項を遵守させること。

以上